

2018 2Q 低価格サーマルイメージャ比較

項番	写真	シリーズ解説	形式	ブランド	参考価格 [¥]	IR解像度 [pix] 縦×横	画角 [deg] 縦×横	最小焦点距離 [m]	計測温度範囲 [°C]	温度分解能 [°C]	精度	フレームレート [fps]	画面	カラーパレットスケールリング	重量 [g]	動画撮影	同軸可視光カメラ	可視光カメラ画素数 [Mpix]	ストレージ	バッテリー	備考
1		XINTESTで最も廉価なモデル。ただし同軸可視光カメラがついていないので役に立たない気もする。	HT-175	XINTEST	120	32×32	33×33	-	-20~300	0.5	±2% / ±2°C	6	2.0in LCD	オートスケールのみ	240	×	×	-		単四×3個	
2		同軸可視光カメラ付きのモデル。売れ筋のように入荷し出回っている。	HT-02D	XINTEST	150	32×32	33×33	0.5	-20~300	0.5	±2% / ±2°C	6	2.4in LCD	オートスケールのみ	231	×	○	0.3	マイクロSD?	単三×4個	HT-02Dと混同しないよう注意
3		HT-02DとHT-02は似ているので混同しないように注意。業者側ですら両者が混同されている場合がある。HT-03は中途半端だから市場に出回っていない気がする。	HT-02	XINTEST	200	60×60	33×33	-	-20~300	0.15	±2% / ±2°C	6	2.4in LCD	オートスケールのみ	231	×	○	0.3	マイクロSD	単三×4個	HT-02Dと混同しないよう注意
4		非常にいろいろなブランドで売られており、微妙に仕様が変わっている可能性がある。XINTESTのサイトと実際に届いている製品のスペックに差がある。	HT-03 (黒)	XEAST	300	80×80	20×20	0.5	-20~300	0.5	±2% / ±2°C	6	2.4in LCD	オートスケールのみ (推定)	231	×	○	0.3	マイクロSD (推定)	単三×4個	上のHT-03と違うっぽい筐体色は黒
5		HT-02のさらに上位モデル風。HTIブランドで売られているが、結局はXINTESTと同じ会社のよう。	HT-04	HTI	400	220×160	35×26	0.5	-20~300	0.07	±2.5% / ±2.5°C	8	2.4in LCD	オートスケールのみ	410	×	○	0.3	マイクロSD	単三×4個	筐体色が黒公式サイトに記載なし
6		HT-04はHT-02と見た目が似ているが、中身はHT-18に近い仕様。HT-04とHT-18は別物であるが、HT-02とHT-04は別物である。	HT-18	HTI	410	220×160	35×27	0.5	-20~300	0.15	±2.5% / ±2.5°C	8	3.2in LCD	オートスケールのみ	389	×	○	0.3	内蔵4G外部ストレージなし	内蔵バッテリー	外部ストレージを持たないが、USBでパソコンにデータを吸い出しできる。
7		あまり情報がないがたまに販売されている。	XE-165	XEAST?	230	32×32	不明	不明	-20~1000	不明	±3% / ±2°C	不明	2.8in LCD	不明	不明	不明	不明	不明	内蔵1GマイクロSD	内蔵バッテリー	湿度も測れる0~80%RH ±3%RH miniUSBポート付き
8		UIとスペックからみてXINTEST HT-03のパッケージ違いモデルとみられる。	XE-890 IR-890	XEAST?	230	60×60	20×20	0.5	-20~300	0.15	±2% / ±2°C	6	2.5in LCD	オートスケール (推定)	310	×	○	0.3	マイクロSD	単三×4個	
9		CEMの最廉価機。割とちゃんとしたのを作っているメーカーなので、ほかの超廉価機と比べるとコスパがよいはず。CEMには上位機種もあるが値段が高くなりすぎるのでここではあてない。	DT-9868	CEM	350	32×31	38×38	0.5	-20~300	0.15	±2% / ±2°C	9	2.2in LCD	オートスケールのみ	不明	×	○	0.05	マイクロSD	内蔵バッテリー	立派なケースがついてくる
10		UNI-Tの低価格サーマルイメージャ。2本のレーザーマーカーが撮影範囲を示すので便利。	UT80	UNI-T	380	80×60	50×50	-	-30~400	0.15	±3°C (-30~0°C) ±2°C (1~100°C) ±2% (101~400°C)	9	2.4in LCD	不明	不明	×	○	2	マイクロSD	内蔵バッテリー	
11		UT80とUT85は温度範囲が少し違うほか、海拔高度の仕様がUT80 2000mに対して UT85が4000フィート (1200m) となっている。本当か? 同じ形式でディスプレイ折り畳み式の旧モデルがあったが、現行はガンタイプで廉価版の位置づけのよう。	UT85	UNI-T	-	80×60	50×50	-	-30~450	0.15	±3°C (-30~0°C) ±2°C (1~100°C) ±2% (101~450°C)	9	2.4in LCD	不明	不明	×	○	2	マイクロSD	内蔵バッテリー	
12		FLIRのレプトン搭載したサーマルイメージャ。FLIRのTG165と大体同じであるが、それならFLIRにしておけばよい感じ。	VICTOR 320	VICTOR	520	80×60	50×38.6	-	-25~150	0.1 (推定)	±7°C (-25~-10°C) ±3°C (-10~10°C) ±2% (10~150°C)	9	2.4in LCD	不明	不明	×	×	-	内蔵128M外部ストレージなし	内蔵バッテリー	FLIR LEPTON2.0 撮像素子
13		廉価サーマルイメージャの走りのひとつSeekの低価格スタンドアロン機。中国製に比べると割高だが、カラーパレットの温度範囲を設定で固定できる機能がついている点は高評価。ただし、Seekの例によって可視光カメラはついていない... 懐中電灯機能付き。	Seek Thermal Reveal	Seek	399	206×156	36×36	-	-40~330	-	-	9	2.4in LCD	オートスケールおよび手動設定可能	180	×	×	-	マイクロSD	内蔵バッテリー	懐中電灯機能付き。
14		アウトドア向けバージョン。望遠気味の設定で視野角を狭めてある。また、フレームレートが高められている。黒と迷彩の2カラーバリエーション。	Seek Thermal Reveal XR Fast Frame	Seek	469	206×156	20×20	-	-40~330	-	-	15	2.4in LCD	オートスケールおよび手動設定可能	180	×	×	-	マイクロSD	内蔵バッテリー	懐中電灯機能付き。
15		高解像度の高級バージョン。外部ストレージがなくなった。	Seek Thermal Reveal PRO	Seek	699	320×240	32×32	-	-40~330	-	-	9	2.4in LCD	オートスケールおよび手動設定可能	180	×	×	-	内蔵4G外部ストレージなし	内蔵バッテリー	懐中電灯機能付き。
16		FLIRの低価格サーモグラフィ。画像保存機能すら無いという非常に割り切ったスペック。より廉価な中国製品が出回るようになった今となっては...	TG130	FLIR	250	80×60	55×43	-	-10~150	0.15	不明	9	1.8in LCD	オートスケールのみ	210	-	×	-	なし	単三×3	
17		FLIR TG165 FLIRの「サーマルイメージング温度計」Fluke VT02と同じコンセプトの製品である。撮像素子はFLIR ONEなどと同様のものが使われている模様。VT02と比較して撮像素子の解像度が高そうだが、そのわり同軸の可視光カメラが無いので微妙。	TG165	FLIR	400	80×60	50×38.6	-	不明	不明	-	9	2.0in LCD	オートスケールのみ オートスケール停止はできる	312	-	-	-	マイクロSD	内蔵バッテリー	
18		FLIRのコンデジ風低価格機。低価格といっても結構高い。	FLIR C2	FLIR	700	60×80	31×41	0.1	-10~150	0.1	±2% / ±2°C	9	3in LCD	オートスケールおよび手動設定可能	130	△	△	0.3	内蔵外部ストレージなし	内蔵バッテリー	USBでパソコンにデータを吸い出しできる。
19		可視光カメラの輪郭線だけ温度画像に重ねられる点は評価高い。	FLIR C3	FLIR	830	60×80	31×41	0.1	-10~150	0.1	±2% / ±2°C	9	3in LCD	オートスケールおよび手動設定可能	130	△	△	0.3	内蔵外部ストレージなし	内蔵バッテリー	別売ソフト (6万円) を使うと動画保存可能。